

編 集 後 記

『独逸文学』58号をお届けします。

本号は研究論文4本、研究ノート1本、研究発表概要、2人の学生の留学体験記という内容です。語学、文学、文化のバランスもとれ、専修の特徴を示す、充実した研究成果ではないかと思えます。専修として毎年、刊行する私たちの研究雑誌は、教員数や大学院生の数が減少傾向にあるので、当然のことながら、数的にはそれほど多くの分量を実現することは物理的に困難ですが、継続的に専修の研究活動を反映するものになれば、十分にその役割を果たしていると言えるのではないのでしょうか。

今後も、特色ある私たちの専修の研究活動をこの研究誌に示していきたいと思えます。とりわけ専任教員や本学出身者の会員から特色ある研究成果の発表を期待しています。会員の皆さま、奮って論文を寄稿されるよう、お願いします。

編集委員：柏木貴久子、工藤康弘、芝田豊彦、武市修、宇佐美幸彦

当学会誌の編集方針

1. 本学会誌の内容はドイツ語圏の言語・文学・文化およびドイツ語教育に関する論文、マルジナリア、書評、翻訳、エッセイなどとし、原則として会員からの投稿とする。ただし、編集委員会が会員以外に特別に原稿を依頼することがある。その他に、シンポジウム報告、修士論文要旨、学生の優秀論文要旨、卒業論文題目一覧、本学会の行事記録、前年度の会計報告を掲載する。
2. 投稿原稿の採否は編集委員会が行う。その場合、査読を編集委員以外に別に委嘱することがある。
3. 執筆要領は別に定める。
4. 投稿希望者は予定題目とその概要を期日までに編集委員会宛にあらかじめ提出しなければならない。詳細は次号執筆申し込み要領を参照のこと。

独 逸 文 学 58	
2014年3月20日 発行	関西大学独逸文学会
編集兼 発行者	吹田市山手町3-3-35 関大独文研究室内 電話・大阪(06)6368-0324
郵便振替口座	00910-5-116831
口座名称	関西大学独逸文学会
印刷所	株式会社遊文舎

(非売品)

DIE DEUTSCHE LITERATUR

58

2 0 1 4

Gesellschaft für Germanistik
der Kansai Universität
Osaka Japan